環境経営レポート

（運用期間：2021年8月1日～2022年7月31日）

株式会社　SANKI

作成日：2022年10月31日

目　　次

Ⅰ．組織の概要 ・・・・・・・・・・ Ｐ１

Ⅱ．実施体制 ・・・・・・・・・・ Ｐ２

Ⅲ．環境経営方針 ・・・・・・・・・・ Ｐ３

Ⅳ．環境経営目標 ・・・・・・・・・・ Ｐ４

Ⅴ．環境経営計画に基づき実施した取組内容と評価 ・・・・・・・・・・ Ｐ５

Ⅵ．環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標 ・・・・・・・・・・ Ｐ８

Ⅶ．環境負荷の実績（グラフ） ・・・・・・・・・・ Ｐ９

Ⅷ．次年度の環境経営計画 ・・・・・・・・・・ Ｐ１０

Ⅸ．環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟などの有無 ・・・・・・・・・・ Ｐ１１

Ⅹ．代表者による全体の評価と見直し・指示 ・・・・・・・・・・ Ｐ１２

Ⅰ　組織の概要

1．　事業者名　　株式会社　SANKI

2．　代表者氏名　　芦澤　剛彦

3．　所在地　　410-0041
静岡県沼津市筒井町17－2

4．　事業活動　　公共下水道工事
機械設備工事（給排水衛生設備工事（給排水衛生設備・空調換気設備）
浄化槽設備工事、ガス設備工事、リフォーム工事

5．　従業員数　　16名

6．　環境管理責任者　　芦澤　剛彦
連絡担当者　　芦澤　真理

7．　連絡先　　TEL　　(055)-922-9804
FAX　　(055)-922-4481
（E－mail：　info@numazu-sanki.com）

8．　建設業許可
建設業
静岡県知事許可　（般ー29）　19309号
静岡県知事許可　（特ー1）　19309号
産業廃棄物収集運搬業許可　　※自社運搬のみ
第2201132257号

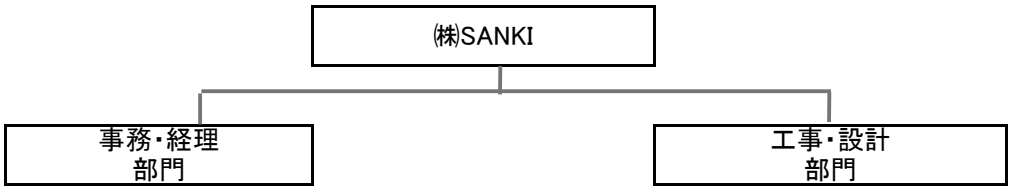
9．　事業の規模
①　設立（現在地）　　1982年8月

②　事業規模　　資本金：　2，000万円
敷地面積：165．04㎡
延べ床面積：195．4㎡
売上高：288百万円

10．事業年度
8月1日～翌年7月31日

11．レポートの運用期間及び発行日
環境経営レポート運用期間（2021年8月1日～2022年7月31日）
環境経営レポート発行日（2022年10月31日）

12　認証・登録の対象範囲
活動：　建築設備業、管工事全般
対象組織：本社（事務・経理部門、現場部門）



Ⅱ　実施体制

作成日：2022年10月31日
作成者：芦澤　真理

対象範囲：本社、駐車場

環境経営責任者
代表取締役
芦澤　剛彦

1.環境方針を定め、誓約する
2.環境経営システムの実施及び管理に
　必要な人材、設備、費用、時間を用意する
3.環境管理責任者の任命
4.ＥＡ21の取組状況を評価して、全体的な見直しを行う
5．経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者
芦澤　健也

1.環境経営システムの管理責任者として、経営責任者に
　環境活動の取組結果を報告する
2.環境経営システム全体の目標、計画、活動の承認
3.全体的な環境システムの構築、運用、維持を管理
4.環境活動の教育、外部からの苦情、要望等の対応を指示伝達

環境管理事務局
芦澤　真理

1.環境経営システム全体の目標、計画、活動の立案
2.環境経営システム全体の目標、計画、活動の文書作成・管理、データのまとめ
3.外部からの苦情、要望等の窓口

事務・経理部門
事務・経理部門責任者
芦澤　和美

事務部門
社員

1.部門別システム運用責任者
2.取組目標、計画、活動の立案
3.取組実施に向けてのデータ管理
3.実施状況の確認、記録
4.全社員への伝達、教育

工事・設計部門
工事・設計部門責任者
芦澤　汰一

工事・設計部門
社員

下請等の協力会社

Ⅲ　環境経営方針

《企業理念》

SANKIは安心しておいしく飲める水道水を安定的に供給します

SANKI　3つの行動　SANKIはお客様から高い信頼を得るために、常に挑戦・行動します。
SANKIは社業を通じ地域社会に貢献します。
SANKIはお客様・地域社会に信頼される誠実な企業を目指します。

《環境理念》

株式会社　SANKIは、管工事業の業務全般に於いて、地域環境の保護、環境保全を考慮した作業、並びに循環型社会への構築に努めて、地域社会に貢献できる企業を目指します。

《環境方針》

1：事業活動の環境への影響を考え、経済的・技術的に可能な限りで環境保全活動の継続的な改善に努めます。

2：環境保護・環境保全及び環境負荷の削減・改善を図る為に、次の環境配慮活動に努めます。

1）二酸化炭素排出量の削減

節電・エコドライブに積極的に取り組む

2）廃棄物排出量の削減

資材を効率よく使用し、廃棄物の減少（Reduce)再使用（Reuse)再生利用（Recycle)の3Rに取り組む

3）水使用量の削減

節水商品の活用・提案に努める

4）環境に配慮した工事

再生利用（Recycle)出来る資材の提案・使用に努める

再使用（Reuse)出来る資材の活用

5）再生材の利用及びグリーン購入を積極的に実施する

3：環境に関する法規制、同意した要求事項を順守し、地域社会との調和に努めます。

4：全社員が環境方針を周知し、環境意識の向上と環境活動に継続的に取り組みます。

制定年月日　　2007年10月1日
改定年月日　　２０１９年３月１日

株式会社　SANKI

代表取締役　芦澤　剛彦

Ⅳ 環境経営目標

1. 運用期間（2021年8月～2022年7月）及び暫定期間（2022年8月～2023年7月）の環境目標

項目		単位	基準期間	運用期間	
			2020年8月 ～ 2021年7月	2021年8月 ～ 2022年7月	
			基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量（事務所）		kg-CO_2	13,381	−1%	13,247
内訳	電力	kWh	17,370	−1%	17,196
	ガソリン	L/百万円	7.85	−1%	7.77
	灯油	L	0		0
	プロパンガス（LPG）	kg	0		0
二酸化炭素排出量（建設現場）		kg-CO_2	50,845	−1%	50,337
内訳	電力電力	kWh	0		0
	ガソリン	L/百万円	44.50	−1%	44.06
	軽油	L/百万円	29.30	−1%	29.01
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.36	−1%	0.36
	産業廃棄物排出量(混廃)再資源化率	%	95.00	+1%	104.50
水道使用量の削減		㎥	実績把握	実績把握	実績把握
建設資材、事務用品のグリーン購入率向上 購入金額		%	購入金額の41%	＋1%	#VALUE!
環境配慮型製品の推進		件	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入

※二酸化炭素排出量の総量については、工事の内容量によって大きく変動する為、目標は設定せず、実績把握のみとする。

※環境配慮型製品の推進については、目標値の設定が難しい為、耐震性設備・環境配慮型製品の積極的な推進をはかっていきたい。

2. 中期の環境目標

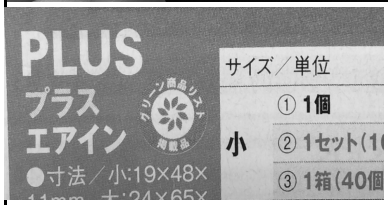
項目		単位	基準年度	目標年度			
			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
			2020年8月 ～ 2021年7月	2021年8月 ～ 2022年7月	2022年8月 ～ 2023年7月	2023年8月 ～ 2024年7月	2024年8月 ～ 2025年8月
二酸化炭素排出量（事務所）		kg-CO_2	13,381	−1%	−2%	−3%	−4%
内訳	電力	kWh	17,370	−1%	−2%	−3%	−4%
	ガソリン	L/百万円	7.85	−1%	−2%	−3%	−4%
	灯油	L	0				
	プロパンガス（LPG）	kg	0				
二酸化炭素排出量（建設現場）		kg-CO_2	50.845	−1%	−2%	−3%	−4%
内訳	電力電力	kWh	0				
	ガソリン	L/百万円	44.50	−1%	−2%	−3%	−4%
	軽油	L/百万円	29.30	−1%	−2%	−3%	−4%
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.36	−1%	−2%	−3%	−4%
	産業廃棄物排出量(混廃)再資源化率	%	95.00	＋1%	＋2%	＋3%	＋4%
水道使用量の削減		㎥	実績把握	−1%	−2%	−3%	−4%
建設資材、事務用品のグリーン購入率向上		%	購入金額の41%	＋1%	＋2%	＋3%	＋4%
環境配慮型製品の推進		件	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入

1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力ｴﾅｼﾞｰﾊﾟｰﾄﾅｰ（令和3年度）の調整後排出係数「0.443kg-CO_2/kWh」を使用した。
2. 電気使用量及び化石燃料使用量、産業廃棄物総排出量の単位はそれぞれの数量を売上高（百万円）にて算出した値を用いる。

Ⅴ　環境経営計画に基づき実施した取組内容と評価

目標	実施項目	対象	実施スケジュール ２０２１年 ８月	９月	１０月	１１月	１２月	２０２２年 １月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	評価
電気使用量の削減 	不要照明・不在時のこまめな消灯	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			不在時の消灯徹底、屋外夜間照明に消忘れ防止タイマー及び防犯用照明の人感センサー設置												
	社内照明器具のＬＥＤ化	事務所													○
	空調温度の設定 冷房26℃　暖房22℃	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			設定温度表示の掲示、スクロールカーテン活用による遮熱・断熱効果実施　継続的に実施する												
	空調機の定期的な保守管理	事務所			○					○				○	○
					清掃・点検					清掃・点検				清掃・点検	
	ＰＣ・プリンター等の待機電力の削減（退社時、外出時）	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			継続的に実施する												
	クールビズ・ウォームビスの励行	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		現場	熱中症対策用に空調服を購入、配布												
化石燃料使用量の削減	エコドライブの励行	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		現場	掲示物等や打合せ時にて社員への徹底、アイドリングストップの徹底、積載物の軽量化促進												
	車両の定期的な点検・整備実施	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		現場	車両ごとに点検者を決めて各自にてタイヤの空気圧・ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙ等を点検、不良・不備な個所があった場合は速やかに修理依頼を行っている												
	建設機械のエコ運転実施	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			こまめなエンジンＯＦＦ、低騒音・低排気ガス機械の採用及び使用徹底、作業効率の向上計画検討実施　作業員に指示徹底												
	EV・ハイブリッドカーの導入	事務所	5台導入で継続しています												△
			検討期間												

目標	実施項目	対象	実施スケジュール												評価
			２０２１年					２０２２年							
			８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	
廃棄物排出量の削減	建設廃材等の分別の徹底	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			現場にてゴミＢＯＸごとの分別実施、会社BOX投入前に分別する意識を高め、徹底												
	建設余材の再利用化促進	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			余材のストック・再利用の徹底、仮設材の再利用実施												
	再生資材の活用	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			再生砕石・再生砂・再生アスコン等の採用及び使用徹底												
	機器・資材梱包の最小限化	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			納入業者への徹底												
	コピー用紙の両面化	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			裏紙使用や両面印刷でコピー用紙削減　　継続的に実施する												
	ペーパーレス化	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			コピー用紙の削減、Ｅﾒｰﾙ、ﾗｲﾝの活用、ｉＰａｄの導入												
水使用量の削減	節水の意識を高める	事務所 現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			節水表示実施、節水ｺﾏへの取替実施												
	河川水・雨水の活用	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			現場作業時使用する散水・雑用水は可能な限り河川水や雨水を利用												

目標	実施項目	対象	実施スケジュール												評価
			２０２１年					２０２２年							
			８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	
グリーン購入の推進  	グリーン購入品の検討・調査・購入の実施	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			必要な物の検討、事務用品・紙類・文具等はグリーンラベル表示などを確認しながら購入している。 継続的に実施する												
環境に配慮した製品の推進	環境配慮型製品を提供する	事務所 現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			継続的に実施する												

Ⅵ　環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間（2021年8月～2022年7月）の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2020年8月 ～ 2021年7月	2021年8月 ～ 2022年7月				
			基準値	目標 削減率	目標値	実績 削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量（事務所）		kg-CO_2	13,381	−1%	13,247	−32%	9,115.6	○
内訳	電力	kWh	17,370	−1%	17,196	−51%	8,570	○
	ガソリン	L/百万円	7.85	−1%	7.84	1%	7.96	×
	灯油	L	0		0			
	プロパンガス（LPG）	kg	0		0			
二酸化炭素排出量（建設現場）		kg-CO_2	50,845	−1%	50,337	20%	61,071.78	×
内訳	電力	kWh	0		0			
	ガソリン	L/百万円	44.57	−1%	44.12	12%	49.76	×
	軽油	L/百万円	29.30	−1%	29.01	28%	37.4	×
廃棄物	一般廃棄物排出量	t	0.36	−1%	0.36	−38%	0.23	○
	産業廃棄物排出量(混廃) 再資源化率	%	95.00	＋1%	104.50	4%	98.80	○
水道使用量の削減		㎥	実績把握		実績把握		260	―
建設資材等のグリーン購入率向上		%	購入金額の41%	＋1%	41.00		49.3	○
環境配慮型製品の推進		件	積極的推進、導入	積極的推進、導入	積極的推進、導入		積極的推進、導入	○

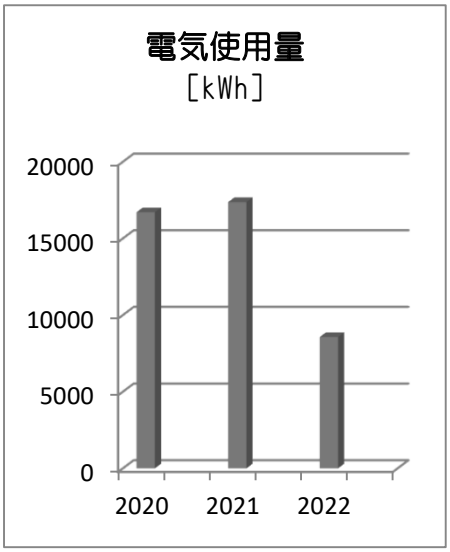
＜備考＞削減比率は、基準値に対する削減量の割合である。また、目標未達でも前年度より削減の場合は「△」とする。

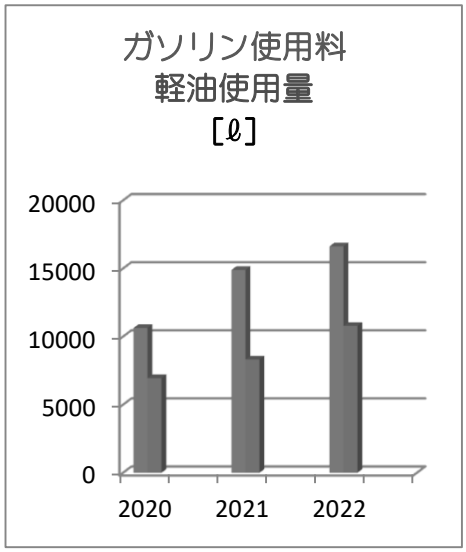
＜評　価＞

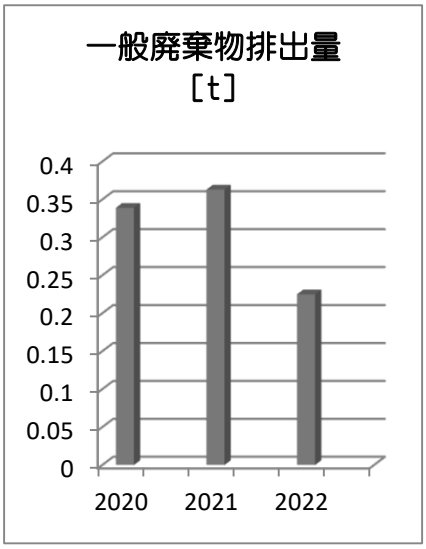
二酸化炭素排出量	原因	①建設現場でのガソリンや軽油の使用量が増加した。 ②緊急修理や単発のお客様の依頼の増加により、多方面への移動や、回数も増えている。事前に計画を立てた現場への工事が困難。
	是正	現場の場所により変動が大きいので経過を見ていく。

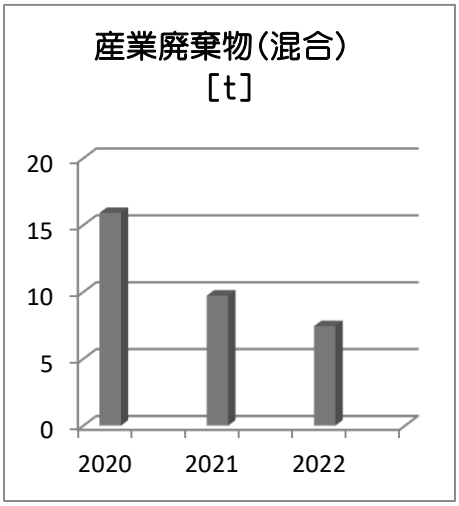
②次年度の環境経営目標　　変更なし

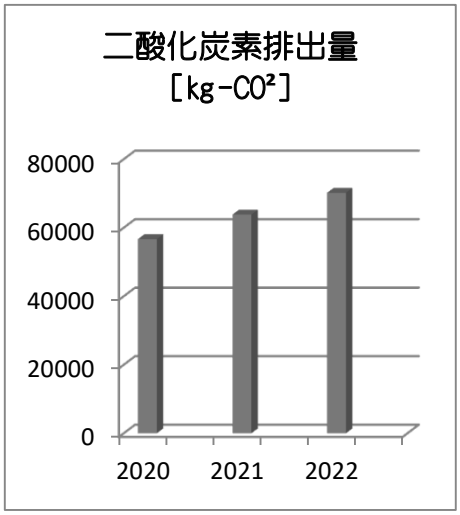
Ⅶ　環境負荷の実績（グラフ）

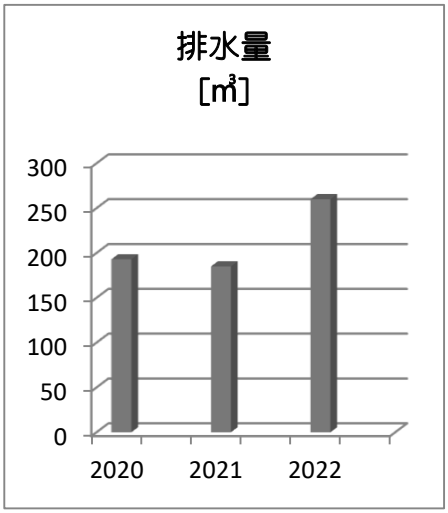












Ⅷ　2021年度の環境経営計画の評価と、次年度の計画

（運用期間：2021年8月～2022年7月）

目的	区分	項目	活動項目	評　価		今後（次年度）の取組
				評価	内容	内容
電気使用量の削減	購入電力	照明	① 不要照明・未使用時のこまめな消灯	○	掲示→徹底されている	継続実施
			② 社内照明器具のLED化促進	○	実施された	―
		空調	① 空調設定温度の厳守(冷房時26℃・暖房時22℃)	○	表示→徹底されている	継続実施
			② 空調機の定期的な保守管理	○	フィルターの定期清掃	継続実施
		その他	① PCの待機電力の削減（未使用時は電源OFF）	△	朝礼などで声掛け	継続実施
			② 昼休み時間稼働停止	△	休憩時間は稼働しない	継続実施
			③ クールビス・ウォームビスの励行	○	空調服を購入、使用	継続的に使用
化石燃料使用量の削減	ガソリン・軽油	乗用車トラック	① エコドライブの励行（アイドリングストップの徹底、空吹かし・急発進・急加速を禁止）	○	表示、打ち合わせ時に手徹底	継続実施
			② 車両の定期的な点検・整備実施（エンジンオイル、タイヤの摩擦状況・空気圧確認）	△	日常点検徹底、チェック表など作成	継続実施
		重機	① 建設機械のエコ運転実施（こまめなｴﾝｼﾞﾝｽﾄｯﾌﾟ、綿密な作業計画の徹底）	○	朝礼時、注意喚起	継続実施
			② 社用車の新規買い替え時、ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞｶｰ導入	○	社用車3台買い替え	継続実施
廃棄物排出量の削減	事務所	事務	① コピー用紙の両面化（作成書類を可能な限り両面化する、用紙の削減）	○	裏紙使用	継続実施
			② 可能な限りのペーパーレス化（打合せ用ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ導入、Eメールの活用）	○	徹底されている	継続実施
	建設副産物のリサイクル	現場	① 建設廃材等の分別の徹底（金属・ｺﾝｸﾘｰﾄがら・木くず・廃ﾌﾟﾗ）	○	各現場のBOXで分別	継続実施
			② 現場施工時、余材の再利用化	○	朝礼時、徹底	継続実施
			③ 再生利用資材の活用（再生砕石、再生砂、AC再生材等）	○	朝礼時、徹底	継続実施
			④ 機器、資材の搬入時梱包材の最小限化	○	納入業者への指示、徹底	継続実施
			⑤ 電子マニフェストの導入	△	説明会に参加、導入準備	完全開始予定
水使用量の削減	上水		① 節水の意識を高める	○	表示OK	継続実施
			② 節水コマの取替え実施	○	取替え済み	継続実施
			③ 現場での散水・雑用水は河川や雨水の利用	○	現場での可能な限りでの利用	継続実施
グリーン購入の推進	事務用品他		① 環境ラベル対応品の購入	○	適合品の選定、優先的に購入	継続実施
環境配慮した製品の推進	現場		① 節水型便器や高効率型給湯器、ｴｺｷｭｰﾄ等の環境に配慮した製品の提案・販売	○	随時	継続実施
			② 公共工事における創意工夫の提案を積極的に行う。	△	検討、実施	継続実施
地域貢献			① 町内の清掃参加	○	筒井町公園の清掃参加	継続実施
			② エコ活動検討	―	コロナの為活動未実施	できる範囲で活動

＜備考＞

評価判定：○（良くできた）　△（まあまあできた）　×（できなかった）　－（実施が見送られた）

Ⅸ 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟などの有無

1.環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日　2022年7月31日

評価者　環境管理責任者　芦澤　剛彦

法規・条例・規制	規制概要	活動項目	遵守状況	遵守評価
廃棄物処理法	事業者の責務	廃棄物の適正な処理	ごみの分別処理及び保管場所・仮置場の確保	○
	産業廃棄物の処理・委託基準	収集運搬は許可が必要	許可有効期限の確認 許可番号の表示 委託処分業者との契約書の有無	○
		収集運搬車の許可表示	許可番号の表示	○
		処分業者との委託契約	委託処分業者との契約書の有無	○
	産業廃棄物管理票	マニフェスト作成	マニフェスト管理状況	○
		適合マニフェストの交付	マニフェストの交付義務	○
	産業廃棄物の保管	保管場所の表示	廃棄物種類、責任者表示の有無	○
	産業廃棄物管理票交付状況の報告	マイフェストの交付状況を県知事に報告が必要	報告書作成し、年に1度提出	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置	委託先の実地確認と記録の保管	現地確認記録の保管	○
沼津市における廃棄物の処理及び清掃に関する規則	沼津市指定ゴミ袋の使用及び分別	沼津市指定ゴミ袋を使用し、ゴミの分別を行う	事業者用の指定ゴミ袋の使用及びゴミの分別	○
建設リサイクル法	請負物件に関する届け出の有無	工事計画書・届出書の確認	工事計画書の作成、提出	○
			届出書の作成、提出	○
			再資源化の促進	○
			再資源の使用	○
			分別解体等	○
		マニフェストの作成	マニフェスト管理状況	○
		廃棄物の分別	一般廃棄物・産業廃棄物の分別状況	○
騒音規制法	当該工事における規制基準の遵守・適用の有無	作業敷地境界での規定騒音値の確認	規定騒音値以下になるよう、施工方法を検討	○
		作業時間帯の確認	工事計画を立て事前に確認する	○
振動規制法	当該工事における規制基準の遵守・適用の有無	作業敷地境界での規定騒音値の確認	規定騒音値以下になるよう、施工方法を検討	○
		作業時間帯の確認	工事計画を立て事前に確認する	○
浄化槽法	浄化槽の設置及び廃止	事前協議及び届出書の確認	有資格者の確認	○
			事前協議による確認	○
			届出書の作成・提出	○
建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		○
	第25条第1項	主任技術者の設置		○
	第25条第2項	監理技術者の設置		○
水道法	第25条の2	指定給水装置工事事業者の指定	給水装置工事主任技術者	○
	上水道管布設及び管理	事前協議及び届出書の確認	有資格者の確認	○
			事前協議による確認	○
			届出書の作成・提出	○
下水道法	公共下水道への排水　下水道管布設及び管理	事前協議及び届出書の確認	有識者の確認	○
			事前協議による確認	○
			届出書の作成・提出	○
建築基準法	居室の換気設備	設計書及び設計図にて確認	居室の24時間換気設備の設置	○
環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力（温室効果ガス抑制措置）	EA21の取組	○
グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）	第5条	事業者の責務（国等の施策への協力等）	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	○
改正フロン排出抑制法		3カ月ごとのエアコンの点検	点検実施書面の保管、3年の保管	○

2.　違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

Ⅹ　代表者による全体の評価と見直し・指示

作成　2022年10月31日

		項　目	確認　:（必要に応じて評価・コメント記載）
1・見直し関連情報	1	エコアクション21文書	☑　記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☑　二酸化炭素排出量、建設現場のガソリン、軽油が未達
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☑　継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑　記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑　特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑　実績の把握を続け、目標や運用方法を見直していく。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☑　継続して取り組みます
	8	その他（　　）	□

2・代表者による全体評価・見直し指示

7月より新社屋へ引っ越し、業務も完全移行した。事務所については、ワンフロアになったことから、電力や一般ごみの把握、管理がしやすくなり、消費電力なども減少できた。今後も実績を把握しながら、エコ活動に取り組みたい。

前期同様、管・ホースなどは仮設用として使用できるので、リサイクルし、次の現場で使用するなど徹底していく。無駄なく購入し、余分に出た部材等は、返品の報告をあげ、在庫を減らす。

社員の資格取得も継続し、合格者が増えている。建設キャリアアップシステムの加入による経営審査や入札の点数アップにもつなげていきたい。

2022年10月31日

株式会社　SANKI

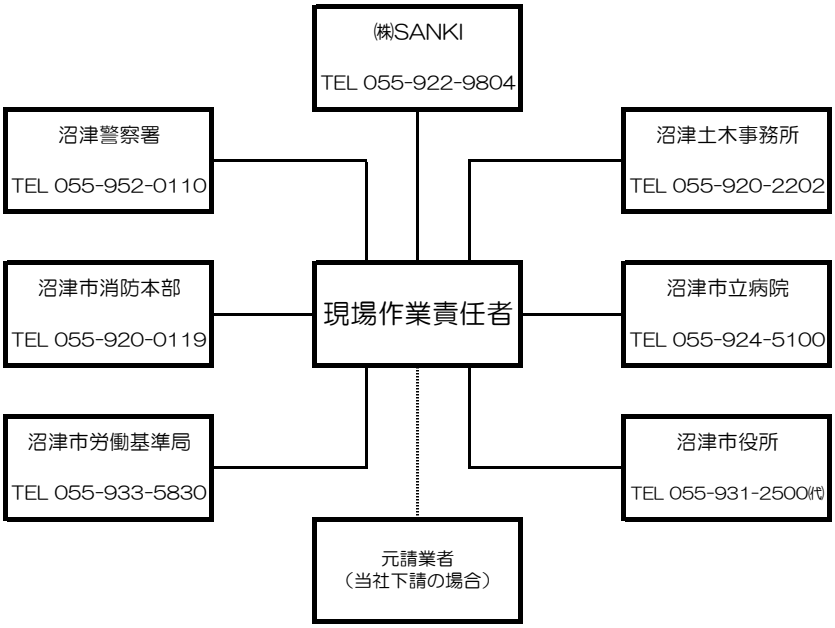
代表取締役　　芦澤　剛彦

	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・(無)	
2	環境経営目標	有・(無)	
3	環境経営計画	(有)・無	7月より新社屋での業務開始した実績を基準に、今後のエコ活動の計画、実践につなげる。
4	環境に関する組織（実施体制含め）	有・(無)	
5	その他のシステム要素	有・(無)	
6	その他（外部への対応）	有・(無)	

〔6〕　緊急事態への準備及び対応

※　大雨・出水・強風等の異常気象で災害発生の恐れのある場合は、次の組織構成で対応する。
（警報発令時は作業を中止し、現場内のパトロール等を行い、災害・事故防止に努める）

緊急時の組織構成



1. 現場作業責任者は災害・事故発生時、災害・事故状況を正確に把握する
2. 会社に連絡する
3. 元請業者に連絡（当社が下請の場合）
4. 必要がある場合、所轄官庁関係部署への連絡
5. 必要がある場合、立入禁止措置等を講ずる
6. 必要がある場合、近隣住民に避難を促す
7. 必要がある場合、作業員に避難を促す
8. 可能な場合、現場にて対応措置を講ずる

緊急事態の想定結果及び対応策と検証結果

緊急事態の想定結果	対応策	検証結果
混合廃棄物ゴミコンテナBOXからのゴミの飛散	・　シートによる養生実施	良好の為、継続する
	・　強風時はシートが捲れないようにロープで押える	良好の為、継続する
	・　こまめにゴミコンテナBOXの量を確認する	良好の為、継続する
工事箇所における漏水事故	・　漏水発生時、漏水箇所・漏水状況を速やかに確認する	良好の為、継続する
	・　周囲に影響が出る場合は、所轄官庁関係部署へ速やかに連絡す	良好の為、継続する
	・　断水作業の場合は、関係部署に連絡するとともに影響範囲の確認を行う	良好の為、継続する
	・　漏水状況・復旧作業状況・復旧完了状況を写真等で記録	良好の為、継続する
建設副産物等収集運搬時の飛散・落下事故	・　積荷の飛散・落下防止の為、ロープ等で荷をくくる	良好の為、継続する
	・　積荷によりシート養生を行う	良好の為、継続する
	・　法定速度を守り、安全運転を心掛ける	良好の為、継続する
	・　法定積載荷重の厳守（過積載走行の禁止）	良好の為、継続する

※安全訓練講習会

実施日：　2022年7月16日

参加人数：　8名

訓練内容：　・正しい制服、保安帽の着用　・作業時の事故防止、周囲への安全確認
・危険個所の察知、危険防止策　・通行止め区間の住民への配慮　　について

訓練結果：　安全について手順通り再確認できた。
大きな問題や課題等もなく、今回の対応策を継続して行っていきます。